令和元年11月　　第131号

道北支部ニュース

発行人　前田　健太郎
編集人　近藤　伸英

Index

✓Academic　PT
✓道北支部活動報告
✓道北支部掲示板
✓道北支部役員会議議事録

Academic　PT

今回は介護老人保健施設ふらののの千葉恒先生に書いていただきました．フィンランドでの学会で発表されたとのことです．若い会員の皆様には大変な刺激となるのではないでしょうか．

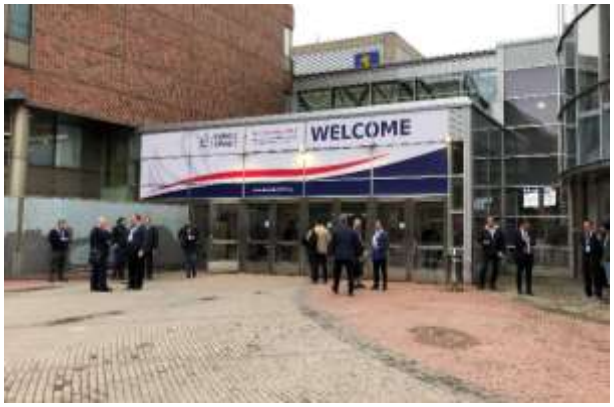
【EUROSPINE 2019に参加して】

介護老人保健施設ふらの
千葉　恒

2019年10月16日～18日、フィンランドの首都ヘルシンキで開催された、EUROSPINE2019という学会に参加してきました。EUROSPINEは、ヨーロッパの各地で年に1回開催される脊椎に特化した学会です。私はポスター発表で採択されましたが、口述およびポスター演題含め約30%の採択率と、実は狭き門の学会でした。5年前にアメリカテネシー州のナッシュビルで開催されたAAP（Association of Academic Physiatrists）という学会に続き、2回目の国際学会でした。旭川医大整形外科の脊椎班の先生方と参加してきましたが、小林徹也先生には英語の抄録やスライド作成だけではなく、現地での移動やコミュニケーションなど、大変お世話になりました。

今回の研究は、コホートスタディ、いわゆる対象者を追跡調査したものです。追跡期間は、なんと34年！34年の間に脊椎のどこがどのように変化したのか？この臨床疑問を解明すべく、旭川医大整形外科脊椎班の清水先生が中心となり、2017年に検診を実施しました。今回の検診のきっかけは、2015年11月に新潟で開催された日本側弯症学会に参加した際に、一緒に行った脊椎班の別の先生から、「30年以上前に富良野で行われた検診参加者のレントゲン写真と問診票が見つかった」ことをお聞きしました。その後、雪が降り積もる中、清水先生とレントゲンが保管されている暗い倉庫の中から資料を持ち帰ったのを、今でも覚えています。持ち帰った資料は約300名分、その中から現在も受診が可能だろうと思われる方々をリストアップし、同意の得られた方々を対象としました。検診内容は、整形外科医である清水先生が34年前と現在の脊柱および膝のレントゲン写真を比較、理学療法士である私が体幹・下肢機能などを評価、その結果をフィードバックしました。

臨床疑問から始まるのが、臨床研究です。2020年7月18日-19日の両日、第71回北海道理学療法士学術大会が旭川で開催されます。12月からは演題募集も開始されます。ぜひ日頃の臨床研究を持ち寄って頂き、学会を盛り上げて頂ければと思います。そして、旭川の地から最新の知見が世界に発信されることを願っております。



道北支部活動報告

『SWEET GIRL RUN活動報告』

医療法人歓生会　豊岡中央病院
理学療法士　伊藤　颯亮

令和元年9月8日（日）に第9回SWEET GIRL RUNが開催され、理学療法サポートに参加させていただきました。SWEET GIRL RUNとは、女性のみが参加出来るマラソンイベントですが、近年では完全女装男子も参加可能という事や、コスプレをしての参加も可能という事で注目を集めています。河川敷のコースを3km、5.5km、10km、15kmから選択でき、マラソン初心者から経験者まで気軽に参加する事が出来る親しみやすいイベントの一つです。マラソン後にはお楽しみ抽選会など、ゴール後も楽しめるイベントも企画されております。9回目の開催となる本大会ですが、今回も道内各地から様々な方が参加されていました。月末開催の旭川ハーフマラソンの練習として走る方、年に一度のこのイベントを楽しみに家族や職場の同僚、ご友人と参加される方など参加者それぞれの楽しみ方があるように感じました。

本大会は第1回から主催者側より理学療法士会にサポートの依頼をいただき、今年は8名の理学療法士がサポートメンバーとして参加しました。今回競技前後含め62名の参加者に実施させていただきました。サポート活動はスポーツにおける身体管理意識の向上と理学療法士の啓発を目的として行っています。当日は個別での競技前後のメディカルチェック、ウォーミングアップやクーリングダウン、セルフコンディショニングの指導、資料配布などを行い、参加者一人一人の症状やサポートの実施内容を記録しました。

今回のサポート活動を通し、運動の指導やランナーの方とのコミュニケーションを北海道理学療法士会社会部の象徴である笑顔で楽しく行うことができ、サポートを受けに来た方々も自然と笑顔があふれていました。楽しみながらも、個別に問診や検査などの評価、コンディショニング、ストレッチングなどの指導を行うことで、理学療法士として充分なサポート活動ができたと思います。趣味レベルから競技者レベルまで様々な方が参加するこのイベントだからこそ、その人その人に合った評価・コンディショニング・指導ができる理学療法士の価値を再認識出来る貴重な機会となりました。

今回サポート活動に参加し、世間の理学療法士に対する認知度、期待が高まっていると感じました。今後もこのようなサポート活動を通して理学療法士の価値を高め、世間の認知度の向上に努めたいと思います。

『第11回旭川ハーフマラソンのサポート活動に参加して』

道北勤医協　一条通病院
理学療法士　高嶋唯

平成31年9月29日、第11回旭川ハーフマラソンが開催されました。旭川ハーフマラソンは、花咲公園陸上競技場をスタートし、ロータリーや常磐公園などを通り、旭橋や花咲大橋など川のまちである旭川を代表とする数々の橋を駆け抜けるコースとなっています。第7回大会より変更されたこのコースは、以前よりも沿道の応援も増え参加者から高評価をいただいていました。さらに昨年第10回大会より一部変更して、狭かったコース幅を解消し走りやすく、好記録を狙うことが出来るコースとなりました。

今回は天候にも恵まれ、絶好のマラソン日和のなか全国から4229名もの方々が参加されました。また、土佐礼子選手がゲストとして参加され、大会を盛り上げていました。旭川市体育協会より北海道理学療法士協会道北支部に依頼を頂いて、第3回大会よりサポート活動を実施しています。サポート活動はスポーツにおける身体管理意識の向上と理学療法の啓発を目的として行っています。当日は個別でのウォーミングアップやクーリングダウン、セルフコンディショニングの指導など行い、選手1人1人の症状やサポートの実施内容を記録しました。

今年は理学療法士16名でサポートを行いました。医師、看護師、柔道整復師、鍼灸師、地域の皆様と連携を取りながら、競技前後で身体ケアや救護活動を計62名に対して実施しました。多くの参加者に、競技後のクーリングダウンでの筋の緊張の緩和や疲労回復の実施、セルフコンディショニングの指導など障害予防に関する情報提供を行いました。前回大会に続き、2名の理学療法士が救護班へ参加し、他職種と連携を取り合うことで迅速な対応を実施することが出来ました。

私はこうしたイベントのサポート活動に初めて参加させて頂きました。普段病院で対応させていただく患者様は70~90代と高齢者の方が多く、若い方に理学療法を提供する機会はほとんどありませんでした。そのため、しっかりとコミュニケーションをとることができるのか、経験不足である自分が満足していただけるケアを提供できるのか不安を感じていました。しかし、経験者の方が実際にサポートを行う姿を見せて下さったり、アドバイスを頂くいたりすることで徐々に楽しみながら参加者の方々の運動後のケアをすることができました。また、サポートが終わった後に参加者の方からお礼を言っていただけることに喜びを感じました。この経験を糧に、より技術や経験を積んでいきたいと思います。

ピーク時にはマットが足りず、参加者の方をお持たせしてしまうほど多くの参加者が理学療法ブースを利用してくださりました。中には、理学療法士という職業自体を初めて知ったという方もいました。競技者の方々の障害予防はもちろんのこと、地域の方々と交流を深めることで理学療法士の認知度を高め、興味を持っていただくという面からも地域の活動を行うことは重要であると感じました。

平成31年度道北支部第4回健康増進事業
ダイハツ工業との地域密着プロジェクト「健康安全運転講座」

名寄市立総合病院
リハビリテーション科
佐野　良則

9/19日（木）士別市いきいき健康センターにて今年度2回目の「健康安全運転講座」が行われました.

スタッフは4名：佐野・堺（名寄市立総合病院），宮本（士別市立病院），大平（森山病院）が担当しました. 前回は2名，今回も1名旭川から応援を頂いての開催です. 前回は初めてなのでなにをしたら良いかもわからず経験者のお二人にご指導を頂いておりました. 今回は上川北部地域のスタッフでと考えましたが地元スタッフの都合がつかず応援を頂きました. 第1回開催時の6/19は，11:00～の準備もバタバタとしており昼食も取れないほど緊張しており，その後の体力測定や終了時まで気が気でなかったのですが，2回目は11:00～の準備もスムーズに行えてご飯も食べられ時間的に余裕のある感じで進められました. ただ，前回，講話と体操指導は旭川から応援を頂いた齊藤浩平道北支部副支部長に実施願いましたが，今回は地元で行う決意のもと，佐野が講話をし（齊藤副支部長さんの前回の資料を参考にして），宮本がコグニ体操を取り入れた体操指導を行いました. 前回のアンケートから運動時間を長くしてほしいとの要望もあり，講話5分体操15分で企画しました. 今回の参加人数は23名と（前回31名）少なかったので2クールに分けても11名と12名で体力測定も時間通り終わり講話・体操後フィードバックに時間を取ることが出来て膝や足の痛みのことや血圧の事など測定値以外の事もお話しできたので良いフィードバックとなったように感じます. その中でも90歳の男性とお話させて頂きましたが，「もう一度免許を更新する. パークゴルフに行くためだと」言っておられました. この方は郊外に住んでおられ，パーク場に通うことが生きがいである. 今回のプロジェクトの趣旨には，長く健康で安全に運転が出来る，「運転寿命」を長くすることが求められており，まさにこの様なお方のためにこの事業があることを感じました. 最後は全スタッフでお見送りをし，参加者は大変満足なお顔をされて帰路につかれました.

その後のアンケートの中ではよかった項目の中に「体力測定や講話，体操指導」などを選んでいる方は少なく，「車の安全確認」や「先進システム」に〇が多くつけられていて，理学療法士に対する参加者のインパクトは少なかったようでした. 次回はもっと印象深くなるように講話・体操を考えたいと思います.

また，前回同様，今回も，士別いきいき健康センターのスタッフ多数の応援を頂き無事に担当セクションが終われたこと，更に前回，旭川から来ていただいた齊藤副支部長さんや前回と今回2回も来ていただいた大平さん，また，この事業のお話しを頂き事前会議や応援の調整をしてくれた道北支部社会部部長岩瀧さん（森山メモリアル病院通所リハビリテーション事業所），ダイハツ工業各スタッフさん等，諸氏にこの場をお借りしてお礼申しあげます. 来年度も6月9月に開催予定とのことで，地元スタッフで出来るように声掛けをしていきたいと思います.

道北支部掲示板

第27回全道学術研修大会・
第1回道北支部学術研修大会
- 臨床推論に必要な評価とその展開方法 -

※昨年、地震で中止になった
「第１回道北理学療法学術研修大会」
の再開催となります

2019年12月15日（日）9:30～
旭川市民文化会館（小ホール）
大会長：前田健太郎（かわむら整形外科）

【特別講演】

臨床推論に必要な評価とその展開方法
亀尾 徹 氏
（サンフレッチェ広島　メディカルアドバイザー
【フィジオセラピスト】）

【教育講演～各分野における臨床推論の実際～】

運動器疾患
建内 宏重 氏
（京都大学大学院
特定准教授）

脳血管疾患
増田 知子 氏
（千里リハビリ
テーション病院　チーフ）

内部疾患
森野 陽 氏
（北海道千歳
リハビリテーション大学　講師）

スポーツ疾患
小林 匠 氏
（北海道千歳
リハビリテーション大学　教授）

事前参加申し込み〆切（会員）11/20

お申し込みページQRコード

【お問い合わせ】 準備委員　大西　正剛（旭川赤十字病院） g.0024masa@gmail.com

第71回 北海道理学療法士学術大会

大会長 千葉 恒

（介護老人保健施設ふらの）

主催
公益社団法人日本理学療法士協会北海道ブロック
公益社団法人北海道理学療法士会

日時：令和2年7月18・19日
場所：旭川市民文化会館

基調講演　加藤 浩 氏
（九州看護福祉大学大学院 教授）

テーマ
「臨床理学療法士に求められる研究と科学」

特別講演　阿部 浩明 氏
（広南病院 リハビリテーション科 総括主任）

テーマ
「理学療法士としての志
～自分の考えをデータを示して発言できる臨床家を志して～」

道北支部役員会議議事録

令和元年度第2回 北海道理学療法士会道北支部役員会議

開催日時：令和元年9月30日（月） 19:00～20:30
場所：旭川市民活動交流センターCoCoDe
出席者：前田、千葉、齊藤、岩瀧、森谷、尾形、片野、近藤、阿部、大西、松岡

【議 事 内 容】
1.理事・支部長報告
(1)理事活動報告
9/8 第3回理事会出席
・定款・定款細則の変更があり、「事務局長」が「事務局長を所管する副会長」となった。また、社会局へ「災害リハビリテーション支援部」が追加された。そして、社会局スポーツ支援部を健康スポーツ局の生涯スポーツ支援部と障がい者スポーツ支援部へ移管・変更された。
・臨床実習指導者講習会については、作業療法士会が11月に北見市で第1回を開催予定。
・全道学術研修大会の正式名称は、「公益社団法人北海道理学療法士会〇〇支部学術研修大会」とする。
(2)支部長活動報告
9/26 支部学術教育部会議出席
9/29 旭川ハーフマラソン支援事業参加
・支援会員のニーズも調査するため、支援会員を対象としたアンケートも検討していくこととなった。

2.事務部報告
上半期提出書類については、各部長へ連絡済み。9月に支部ニュースを発行した。次回は11月に発行予定。

3.学術教育部報告
(1)支部事業開催報告・予定
7/24 症例検討会(小児部門) 座長：内田雅之氏 発表者：南千尋氏、紙弥生氏
9/30 症例検討会(中枢部門) 座長：松田直樹氏 発表者：関口瑞穂氏、野上優佳氏
10/12 道北支部第3回研修会 講師：小橋泰文氏(北都保健福祉専門学校)
10/26 道北支部第2回研修会 講師：齊藤浩平氏(森山メモリアル病院)
12/15 第1回道北支部学術研修大会
・会場は旭川市民文化会館で、定員300名を予定している。各講演の座長は、参加者から募る方向で考えている。

4.社会部報告
(1)活動報告
6/25～7/2 第101回全国高等学校野球選手権大会北・北海道大会旭川支部予選
7/11 ｽﾎﾟｰﾂを楽しむためのｾﾙﾌｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ教室における事前会議
7/11 第101回全国高等学校野球選手権大会北・北海道大会における事前会議
7/13～21 第101回全国高等学校野球選手権大会北・北海道大会
7/14 第1回NAMARA TRAIL+
7/14 介護予防・健康増進推進ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ(旭川)/ｽﾎﾟｰﾂを楽しむためのｾﾙﾌｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ教室
8/4 第1回天塩岳速登競争
8/18 第5回十勝岳トレイルinかみふらの・びえい
9/4 第9回SWEET GIRL RUN及び第11回旭川ﾊｰﾌﾏﾗｿﾝｻﾎﾟｰﾄ活動事前会議
9/8 第9回SWEET GIRL RUN
9/17 第72回秋季北海道高等学校野球大会旭川支部予選における事前会議
9/5～10,9/20～24 第72回秋季北海道高等学校野球大会 旭川支部予選
9/13～14 第72回秋季北海道高等学校野球大会 名寄支部予選
9/19 健康安全運転講座(士別)
9/21 健康安全運転講座(旭川)事前会議
9/25 健康安全運転講座(旭川)
9/29 第11回旭川ハーフマラソン

(2)活動予定
2020/3/7 第40回VASALOPPET JAPAN

5.地区幹事報告
上川中部地区
1.上川中部地域リハビリテーション推進会議：作業部会7/26、8/28、9/18(月1回程度を予定)
2.上川中部保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療専門部会：7/29
3.地域キャラバンin稚内(令和元年度道北支部第2回研究会)への協力
上川北部地区
1.上川北部地区PTOTST合同勉強会：2か月に1回
2.高野連名寄支部メディカルサポート：9/14-15
3.ダイハツ工業との地域密着プロジェクト「健康安全運転講座」：士別開催 9/19
宗谷地区
1.地域キャラバンin稚内：10/26「生活場面における動作分析」 講師：齊藤浩平氏
2.宗谷地域リハビリテーション広域支援センター：10月 症例検討会、多職種向け研修会
3.名寄支部高野連メディカルサポート：9/14-15
留萌地区
1.留萌保健医療福祉圏域連携推進会議 在宅医療・ケア専門部会：未定
2.症例報告会：来年度開催予定
富良野地区
1.HARP サロンや介護保健施設での介護予防講演や個別ケア会議
介護予防講演：7/6、7/17、7/19、7/25、8/21、8/29
個別ケア会議：8/21、9/18(2例ずつ)

6.職能部報告
(1)旭川市地域リハビリテーション活動支援事業
令和元年度の支援回数は、PT62回、OT46回、ST17回(8月末時点)。
(2)あさひかわリハビリ体操指導士養成講習会
3級養成講習会は3会場で、2級養成講習会は1会場で実施済み・予定。スキルアップ研修会を10月に開催予定。
(3)職能部研修会(指定管理者研修会)の日程について
基調講演と研修の2本立てで、研修時間は3時間程度を予定している。講師の都合がつく日程の中から、道北支部では、12/14(土)の午後から旭川赤十字病院にて開催することが承認された。

7.会計部報告
別紙に沿って会計状況報告がなされた。現部員2名が異動する予定で、今後新たな部員を選出していく。

8.次回役員会議について
11/11(月)に北都保健福祉専門学校で開催予定。

文責 松岡 雅也（旭川市立病院）

令和元年度第3回 北海道理学療法士会道北支部役員会議

開催日時：令和元年11月日（月） 19:00~20:30
場所：北都保健福祉専門学校
出席者：前田、千葉、岩瀧、森谷、片野、近藤、阿部、大西、松岡

【議 事 内 容】
1.理事・支部長報告
(1)理事活動報告
11/10 第4回理事会出席
・報告マニュアルが新しくなった。各部の内容を会計部長と支部長がチェックし、会計部長が支部事業局長へ提出することとなる。仕事量が増えるため、場合によっては会計部長を増員しても良い。
・健康スポーツ局の新設に伴い、各支部でも社会部から独立し、今後新設していくこととなる。ただ、道北支部の事業数は非常に多く、マンパワー不足の問題が生じるかもしれない。
(2)支部長報告
・令和2年度(2020年度)支部事業局事業計画を、別紙に沿って報告。
・12/18にPT協会の斉藤副会長、田中氏、道士会の太田会長が来旭し、シルバーリハビリ体操について講演してもらう予定。職能部に一任し、地区の研修会として開催する予定。
協議事項：例年7月中旬に開催している健康増進事業と、7/18,19に開催予定の全道学会と重なりそう。
→健康増進事業の日程を調整していく。

2.事務部報告
支部派遣事業を、道士会へ提出した。支部ニュースは、12月末に発行予定。現在運用している支部のfacebookページにて、全道学会の広報もしていく予定。また、学会PR動画も、今後の地区研修会等で流していく。

3.学術教育部報告
(1)支部事業開催報告・予定
10/12 道北支部第3回研修会 講師：小橋泰文氏(北都保健福祉専門学校)
10/26 道北支部第2回研修会 講師：齊藤浩平氏(森山メモリアル病院)
稚内市外の土曜日勤務の方も参加しやすいよう、日曜日午前中の開催についても検討が必要か。
12/15 第27回全道学術研修大会・第1回道北支部学術研修大会
2020/2/6 整形部門症例検討会 演者：募集中
交通の便や天候を考慮すると、今後は夏開催が望ましいか。

4.社会部報告
(1)活動予定
2020/1/12 初級障がい者スポーツ指導員養成講座講師(障がい者スポーツの意義と理念)
2020/3/7,8 第40回VASALOPPET JAPAN
(2)その他
・例年旭川市健康まつりに参加しているが、来年度の目途はまだ立っておらず未定。
・介護予防の体力評価ソフト「てんとうむし」のサポート期間が終了し、道士会から新しい評価バッテリーの作成について依頼された。また、旭川市と名寄市での事業の際、物品の受け渡しの負担軽減のため、予算が設けられればビブスを作製するとのこと。

5.地区幹事報告
上川中部地区
1.上川中部地域リハビリテーション推進会議：作業部会10/4 (月1回程度を予定)
2.上川中部保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療専門部会：11/22

上川北部地区
1.上川北部地区PTOTST合同勉強会：
9/19 士別市立病院 宮本大地氏「肩関節のアプローチ」
11/14 下川町地域包括支援センター OT千葉望氏「地域包括ケアに関するお金の話」
2020/2/1 予定
来年度予定：上川北部地域POS勉強会(2か月に1回)
高野連名寄支部メディカルサポート5月(春季)、6月(選手権)、9月(秋季)
ダイハツ工業との地域密着プロジェクト「健康安全運転講座」：6月、9月

宗谷地区
1.地域キャラバンin稚内：10/26「生活場面における動作分析」 講師：齊藤浩平氏
2.宗谷地域リハビリテーション広域支援センター：10/5症例検討会、11/9多職種向け研修会
留萌地区
1.留萌保健医療福祉圏域連携推進会議 在宅医療・ケア専門部会：未定
2.症例報告会：来年度開催予定
富良野地区
1.HARP サロンや介護保健施設での介護予防講演や個別ケア会議
介護予防講演・体操指導：10/16、10/24、11/2
今後の予定
11/17 新規サロンの運動指導、立上げ支援
11/24、12/8 託老での運動機能評価
12/1 市民向け介護予防サポーター養成講座
11/20,12/18 個別ケア会議

6.職能部報告
(1)旭川市地域リハビリテーション活動支援事業について
10月末時点で、PT58回、OT38回、ST17回支援している。
(2)あさひかわリハビリ体操指導し養成講習会について
2級・3級ともに大きな問題なく終了している。
(3)職能部研修会について
12/14、旭川赤十字病院にて開催予定。協会指定管理者研修会(初級)の要件を満たす内容で、講師は柿澤雅史氏、時永広之氏に依頼している。

7.会計部報告
別紙に沿って会計状況報告

8.その他
全道学会の準備進捗状況は、機器展示の趣意書の部分がやや遅れているが、概ね予定通りで進行中である。
協議事項：代議員の任期が来年6月までで、以前全体集会で代議員を決定したがどうするか。
→今回も全体集会で決定できるよう、事前に代議員の立候補者を募っていく。

文責 松岡 雅也（旭川市立病院）

<次号予定>
- ✓ 支部長新年あいさつ
- ✓ AcademicPT
- ✓ 支部事業活動報告
- ✓ 道北支部掲示板
- ✓ 役員会議議事録

~編集後記~

今回は久しぶりにボリュームたっぷりの内容となりました。この時期はスポーツ・勉学の秋ということで、道北支部でも支部活動や研修大会などが多く開催されています。年明けはバーサーロペットジャパンも開催されます。支部事業に関しては、参加していただく先生方が不足しています。病院を飛び出し、外で活動する経験は貴重だと思いますので、興味のある先生は是非、支部事業に参加してみてはいかがでしょうか。

問い合わせ先 北都保健福祉専門学校 近藤伸英
E-mail:kondoun@hokuho.ac.jp